

観光・文化検討部会における検討状況

1 観光・文化検討部会について

■目的

東京2020大会に向けて、観光・文化の関係団体間の情報共有及び連携を強化し、観光振興や伝統・文化の発信に資する地域の取組を検討していく

■構成

部会長：中央区観光協会 工藤哲夫

副部会長：東京商工会議所中央支部 岡本 圭祐（他部会員9名 別紙名簿参照）

■ねらい

- ・多様な活動を行う関係団体間の実務的な情報の共有
- ・関係団体間で連携・協力した取組の具体化

■検討対象

- ・2020年に向けた地域の自主的な取組
- ・組織委員会や東京都等の大会に向けた取組への地域の参加・協力 等

2 検討経緯

■平成28年3月28日（月）平成27年度 第1回 観光・文化検討部会

- ・部会長、副部会長の選任
- ・区からの情報提供（区民協議会配布資料の抜粋 等）
- ・各団体の観光・文化の取組に関するアンケートの実施 等
- ・意見交換（各団体における課題、取組状況 等）
 - 観光・文化に関する各団体の取組を把握し整理する必要がある
 - 過去の大会の文化プログラムに係る事例等を知りたい

■平成28年5月17日（火）平成28年度 第1回 観光・文化検討部会

- ・区からの情報提供（2012年ロンドン文化プログラムについて 等）
- ・各団体の観光・文化の取組に関するアンケート結果についての意見交換 等
 - 地域のブランド力を強化する必要がある
 - 地域の連携を進めるため、区内行事一覧を作成する

■平成28年6月29日（水）平成28年度 第2回 観光・文化検討部会

- ・区からの情報提供（区内行事一覧 等）
- ・区民協議会への報告事項の確認 等
 - 都や組織委員会の動向を注視しながら、既存の地域活動や区内の展示スペース等の材料収集を進め、具体的な取組を検討していく必要がある

3 各団体の観光・文化の取組に関するアンケート結果及び主な意見交換内容

■アンケート内容

- 2020年に向けて各団体で実施、予定、想定している観光・文化の取組
- 他団体等と連携可能な事項
- 地域で取り組んでいきたいこと 等

アンケート結果及び主な意見交換内容

伝統・文化、地域の魅力発信

- 本区の伝統や文化に触れる機会の創出
- 大会開催に向けた気運醸成
- 回遊性の推進
- 地域の魅力発信
- 観光資源の発掘 等

【主な意見等】

- 区内で行われるさまざまなイベントの情報を集約し、魅力の発信に向けて地域の連携を進めていく
（人材派遣や会場貸しの連携、地域間で連携したイベント・PRの実施 等）

観光客等受入体制整備

- 観光情報発信手段の拡充
- 多言語対応
- フリーWi-Fiの整備
- 観光客の消費や宿泊の対応
- まちの美化活動 等

【主な意見等】

- 各団体で外国語マップの作成や観光案内所の拡充等を行っており、団体間の情報共有や連携を進めていく
（観光情報センターと各施設との情報受発信の連携 等）

4 今後の検討に向けて

- 9月以降の区内開催イベントや関係機関の動向等を含め、地域の情報共有を進めていくとともに、部会で作成した区内行事一覧等の資料を活用して、地域が連携した取組・イベント等を検討していく
- 地域における多言語対応等の取組についても、観光・文化検討部会の中で多く意見が挙げられていることから、観光客等の受入体制整備の一つとして、観光・文化検討部会で検討を進めていく
- ボランティアに関しては福祉や環境面等、幅広い分野に渡る検討が必要であることから、観光・文化検討部会では対象とせず、別途部会の設置等を検討する

観光・文化検討部会 部会員名簿

部会員

(敬称略)

推薦組織等	名前
中央区文化・国際交流振興協会	鹿川 賢吾
中央区文化振興プロデュースチーム	竹沢 えり子
中央区古典芸能の会	花柳 典幸
中央区能に親しむ会	鹿島 彰
中央区観光協会	工藤 哲夫
中央区商店街連合会	柴川 賢
中央区工業団体連合会	永井 博
東京商工会議所中央支部	岡本 圭祐
全銀座会 G2020事務局	永井 真未
中央区観光協会観光施策策定プロジェクト	相澤 秀之
日本橋問屋街活性化委員会	細谷 昌宏

計 11名

事務局

企画部オリンピック・パラリンピック調整担当課長	早川 秀樹
区民部文化・生涯学習課長	生島 憲
区民部商工観光課長	田中 智彦

計 3名

オブザーバー

中央区文化・国際交流振興協会事務局長	竹内 利雄
中央区商工観光団体合同事務局長	土屋 篤志

計 2名